

2月

新着図書

世界を手で見る、耳で見る 目で見ない族からのメッセージ

著者名:堀越 喜晴
出版者:毎日新聞出版

2011年から8年にわたり「点字毎日」に好評連載された「堀越喜晴のちよいと指触り」が、待望の1冊に。2歳のときに光を失った言語学者による、社会の風をとらえたエッセイ。「目で見ない族」の著者が、この国に吹く風を全身で感じる。私たちは本当に「見て」いるのか？触れて、聴いて、初めてわかる、この社会のかたち。時に鋭く、そしてあたたかく。ユーモアに満ちた随想集。港南区まなび事業『私の好き本「ピプリオバトル」紹介本』

DIE WITH ZERO

著者名:ビル・パーキンス
出版者:ダイヤモンド社

ゼロで死ね。経済学者も絶賛した、最上級に人生に響く生き方。

マリスアングル

著者名:菅田 哲也
出版者:光文社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

塞がれた窓、防音壁、追加錠…監禁目的の改築が施された民家で男性死体が発見された。警視庁捜査一課殺人班十一係主任、姫川玲子の特捜に入るも、現場は証拠が隠滅されていて糸口はない。犯人はなんの目的で死体を放置したのか？玲子の天性の勘と閃き、そして久江の心に寄り添う聞き込みで捜査が進展すると、思いもよらない人物が浮かび上がってきて一菅田ワールド、もう一人の重要人物・魚住久江が合流し、姫川班が鮮烈な進化を遂げるシリーズ第10作！

ぎんなみ商店街の事件簿 BROTHER編

著者名:井上 真偽
出版者:小学館

四人で暮らす兄弟が、ぎんなみ商店街で起きた事件に迫る。同じ事件、同じ手がかりを見ているのに、三姉妹とはまったく違う推理の展開に…？

存在のすべてを

著者名:塩田 武士
出版者:朝日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます
ございます

前代未聞「二児同時誘拐」の真相に至る「虚実」の迷宮！真実を追求する記者、現実を描写する画家。著者渾身の到達点、圧巻の結末に心打たれる最新作。

家で死ぬということ ひとり暮らしの親を看取るまで

著者名:石川 結貴
出版者:文藝春秋

リクエスト
ありがとうございます
ございます

命の終わり、その場所はどこがいいですか。住み慣れた自宅で幸せな最期を迎えるために。親子の絆を探す3年間の遠距離看取り体験記。

答えは市役所3階に 2020心の相談室

著者名:辻堂 ゆめ
出版者:光文社

「こんなはずじゃなかった」。進路を断たれた高校生、恋人と別れたばかりの青年、ワンオペで初めての育児に励む女性…。市役所に開設された「2020こころの相談室」に持ち込まれたのは、切実な悩みと誰かに気づいてもらいたい想い、そして、誰にも知られたくない秘密。あなたなりの答えを見つけられるよう、二人のカウンセラーが推理します。最注目気鋭がストレスフルな現代に贈る、あたたかなミステリー。

ぎんなみ商店街の事件簿 SISTER編

著者名:井上 真偽
出版者:小学館

リクエスト
ありがとうございます
ございます

焼き鳥店『串真佐』の三姉妹が、ぎんなみ商店街で起きた事件に迫る。同じ事件、同じ手がかりを見ているのに、四兄弟とはまったく違う推理の展開に…？

百年の子

著者名:古内 一絵
出版者:小学館

リクエスト
ありがとうございます
ございます

舞台は令和と昭和の、とある出版社。明日花(28歳)は自社が出版する学年誌100年の歴史を調べるうちに、今は認知症の祖母が、戦中学年誌の編集に関わっていたことを知る。学年誌百年の歴史は、子ども文化史を映す鏡でもあった。祖母の軌跡を紐解くうちに、明日花は、子どもの人権、文化、心と真剣に対峙し格闘する先人たちの姿を発見してゆくことになる。子どもの人権を真剣に考える大人たちの想いを縦糸に、母親と子どもの絆を横糸に、物語は様々な思いを織り込んで壮大な人間ドラマとなっていく。

悪逆

著者名:黒川 博行
出版者:朝日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます
ございます

周到な準備と計画で強盗殺人を遂行していく男一。府警捜査一課の館野と箕面北署のベテラン刑事・玉川が箕面で起きた広告代理店元社長の殺害事件を追うなか、手口の異なる新たな強盗殺人が発生する。それぞれに土業詐欺とマルチ商法によって莫大な金を稼いだ二人は、情報屋の標的となっていた。さらには戦時中に麻薬密売組織に関わり、政治家とも昵懇だった新興宗教の宗務総長が殺害される。警察捜査を巧みに攪乱する男の目的とは一。犯罪の最前線で追う者と追われる者を活写する新次元のクライム・サスペンス。

2月

新着図書

喫茶おじさん

著者名:原田 ひ香
出版者:小学館

松尾純一郎、57歳。大手ゼネコンを早期退職し、現在無職。妻子はあるが、現在は別居中だ。再就職のあてはないし、これといった趣味もない。ふらりと入った喫茶店で、コーヒーとタマゴサンドを楽しみ、せっかくだからもう一軒と歩きながら思いついた。これから、趣味は「喫茶店、それも純喫茶巡り」にしよう。コーヒーとその店の看板の味を楽しみながら各地を巡るが、実は苦い過去を抱えていた。妻の反対を押し切り、退職金を使って始めた喫茶店を半年で潰していた。

厨房の哲学者

著者名:脇屋 友詞
出版者:幻冬舎



重要なのは、何かを選ぶこと。選ばなければ、人生は始まらない。選ばざるを得なかった仕事に黙々と熱狂する。運命に従え。道は開ける。もがき苦しんだ50年の軌跡。中国料理とは何か？ その壮大な問いに答える！目の前のことに必死になること。考え抜くという苦行。中華の巨匠・脇屋シェフ、心が奮い立つ圧倒的自伝。(目次)プロローグ第1章 開かずの踏切第2章 母と中華鍋第3章 雨垂れ石を穿つ第4章 魯山人の末裔第5章 砂利道とホテル第6章 デ・ニーロの窯エピソード

とびません。

著者名:大塚 健太/作 柴田 ケイコ/絵
出版者:パイインターナショナル

とりなのにそらをとばないペンギン。とりのなかまがいつしょにとぼうよとさそってもとびません。ひこうきにのったゴリラや、ききゅうにのったパンダがあらわれてもとびません。ペンギンがそらをとばないのはどうしてかな？

ともぐい

著者名:河崎 秋子
出版者:新潮社



2023年 第170回 直木賞受賞
死に損ねて、かといって生き損ねて、ならば己は人間ではない。人間のなりをしながら、最早違う生き物だ。明治後期、人里離れた山中で犬を相棒にひとり狩猟をして生きていた熊爪は、ある日、血痕を辿った先で負傷した男を見つける。男は、冬眠していない熊「穴持たず」を追っていたと言うが…。人と獣の業と悲哀を織り交ぜた、理屈なき命の応酬の果ては一令和の熊文学の最高到達点！！

人間標本

著者名:湊 かなえ
出版者:KADOKAWA

蝶が恋しい。蝶のことだけを考えながら生きていきたい。蝶の目に映る世界を欲した私は、ある日天啓を受ける。あの美しい少年たちは蝶なのだ。その輝きは標本になっても色あせることはない。五体目の標本が完成した時には大きな達成感を得たが、再び飢餓感が膨れ上がる。今こそ最高傑作を完成させるべきだ。果たしてそれは誰の標本か。――幼い時からその成長を目に焼き付けてきた息子の姿もまた、蝶として私の目に映ったのだった。イヤミスの女王、さらなる覚醒。15周年記念書下ろし作品。

ドラえもん探究ワールド科学技術がつまっている！地下空間のひみつ

著者名:藤子・F・不二雄/まんが 藤子プロ 他/監修
出版者:小学館

ドラえもん地下空間のひみつを学ぼう！ 国土の狭い日本では地下利用が大変進んでいます。大深度の道路や鉄道網が張り巡らされ、日本の地下鉄利用者数は世界トップクラスです。地下高速道路も次々と建設されています。日本がほこるトンネル技術・シールド工法は海外にも技術供与されています。さらには地下空間を利用したニュートリノを測定する施設スーパーカミオカンデなどの技術で、二人の日本人がノーベル物理学賞を受賞しました。日本には地下の最新技術が集結しています。本書では太古の洞窟での暮らしから、地下の最新技術まで、日本と世界の地下の歴史と最先端の利用と技術を紹介します。

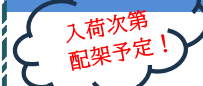
八月の御所グラウンド



著者名:万城目 学
出版者:文藝春秋

2023年 第170回 直木賞受賞
女子全国高校駅伝―都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。謎の草野球大会―借金のカタに、早朝の御所Gでたまひで杯に参加する羽目になった大学生。京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは―一人生の、愛しく、ほろ苦い味わいを綴る傑作2篇。

東京都同情塔



2023年 第170回 芥川賞受賞
日本人の欺瞞をユーモラスに描いた現代版「バベルの塔」。ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシタワートーキョー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する。ゆるふわな言葉と実のない正義の関係を豊かなフロウで暴く、生成AI時代の預言の書